事例No.	2087
公表年度	R4
団体の属性	特別区
団体名	東京都品川区

事例区分	DX

タグ	・新たな政策手法の確立・活用 ・ICT ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	商業・工業

事例内容・タイトル

区とITスタートアップ企業が商店街のデジタル化を推進

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

107 区とITスタートアップ企業が商店街のデジタル化を推進【東京都品川区】

事業の概要

○　品川区は、令和2年度から五反田バレーの企業と連携してデジタル技術を活用した商店街の活性化に取り組んでいる。

○　五反田・大崎には、多くのITスタートアップ企業が居を構えており、五反田バレーと呼ばれている。特に、ITスタートアップ企業6社が立ち上げた(一社)五反田バレーには、現在多くのIT企業が参加している。

○　区は、こうした地域の強みを生かして、ITスタートアップ企業とともに、商店街におけるEC（電子商取引）の推進やSNSを活用した情報発信等に取り組んできた。また、令和3年11月・12月には商店街におけるデジタルスタンプラリーを開催した。



【参考情報①】 人口：40.6万人
関連URL：https://dejima.space/news/2020/20201125er.html
（新規事業創出ワークショップ「デジマ式plus」）
https://project.gotanda-valley.com/daishogyomatsuri/
（オウンドメディア「五反田計画」

【参考情報②】東京都地域産業活性化計画事業費補助金とは
URL：
https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2020/03/03/10.html

もっと知りたい！　担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



品川区の産業の強みである商店街については、来街者数の減少やデジタル化の遅れなど、課題を多く抱えていることから、近年、区内に集積しているITスタートアップ企業が持つ豊富なアイデアや製品・サービスを活用して課題解決につなげられないかという構想に行きつきました。

（品川区）



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



商店街のデジタル化の推進や五反田バレー企業と商店街との協業を支援する事業の実施に当たっては、東京都の地域産業活性化計画事業費補助金（令和2年度から2年間）を活用しました。



これから事業を考えている自治体に向け、一言お願いします。



スタートアップ企業が有する豊富なアイデアや製品・サービスの利活用は、地域が抱える課題を解決する大きな手段の一つになるかと思います。商店街との協業に当たっては、①最初から大きな成果を求めるのでなく、スモールスタートから始めてみること、②行政が間に入って両者の接点作りを行うこと、などが重要と考えます。

★担当：品川区地域振興部 商業・ものづくり課★

令和3年度事業費　5,000千円
（うち、東京都地域産業活性化計画事業費補助金　1,750千円）